平成３１年度　大阪府立福泉高等学校　第３回 学校運営協議会　議事録

令和２年２月２１日　　14：30　於：校長室

※　委　員（敬称略）

氏　　名	
山　田　　博	前帝塚山学院大学AO
佐　野　將　哉	ハートピア泉北　施設長
井　上　雅　史	太平寺地区自治会相談役
島　木　伸　也	堺市立福泉中学校　校長
西　村　　恵	ＰＴＡ会長
西　口　尚　志	同窓会会長

※　事務局

氏　　名	校務分掌等
村　田　幸　男	教頭
増　田　　実	事務長
花　城　三　喜	首席
小　山　育　子	首席
谷　口　政　人	学習支援部長
西　川　道　治	生活指導部長
山　本　勝　久	キャリア支援部長
高　木　浩　和	生徒支援部長

１ 学校長挨拶

３月３日が卒業式です。今年は答辞を二人で読みます。私も国語教師として指導に加わっています。２年生はグアムの修学旅行が無事終わりました。１年生は初めての進級を迎えています。

２ 委員長挨拶

この学校を各角度から見させていただいて、先生方は本当によく頑張っておられる印象を持っています。それをできるだけ我々が発信していく必要があるのかと思っておりますが、いずれにしても、あらゆる面から取り組んでおられることに敬意を表したいと思っております。

３ 今年度の学校評価・来年度の経営計画について［学校長］　　４月にＨＰ掲載予定

委員：ここは古い校舎でありながら、わりあい清掃が行き届いている。家庭はトイレに行けばその家がわかると言うが、ここは生徒のトイレはきれいだ。古いのは別にして。トイレに入りたくないと思う学校もある。どこまでを目標としているか。

校長：生徒が自主的に自分の教室を掃除する。歩いていてごみが落ちていたら拾うというレベルが目標である。そういうことを教えることは非常に大事だと考えている。

委員：国際交流の点で、グアム修学旅行は終わりということだが、日常的に生徒たちの国際交流やグローバル化等の意識はどんな感じだろう。修学旅行の時は積極的に向こうの生徒と話していたか。

委員：修学旅行がきっかけで、外国の人と話をしてそこから英語や外国に関心が出たりする話も聞く。

教頭：グアムジョージワシントン高校との交流は、大いに盛り上がった。実際に関空に就職した卒業生もいる。

４ 今年度の取り組み状況について　［事務局］

・キャリア支援部：今年は進学が増え就職が減った。新年度から始まる授業料等の減免制度、給付型奨学金の拡充等の経済的支援が大きくなったことが進学が増えたという背景にあるかと。その結果進路未定が大幅に減り、現在96%の進路が決定している。求人件数も1200件を超え、過去最高の合格内定率になった。求人の傾向として、難関だった事務職が増えている。また、例年人気があり倍率も高いアパレル関係も内定をいただいている。

・ふくまる委員会

学校経営推進事業について年間で行った活動を報告したい。この活動そのものは生徒の自立支援を目標にしていて、すでにいくつかの結果が出ている。今年度は地域貢献という点で、生徒たちが、本校の菜園で育てた野菜や果物を調理したり、商品や作品を工作した。生徒たちは、多様な人との交流する中で協調性を育んでいった。「ご飯のお供グランプリ」という催しでグランプリを取った生徒の作品を、災害復興支援チャリティメニューとして、近隣の焼き肉店で販売していただくことができた。

これらの活動がきっかけとなり、バイオメディカル関係へ進学を決めた生徒が出たり、高齢者との交流が動機付けとなり介護士をめざす生徒が出たりした。

この事業は三年計画で、次年度はさらに発展させて、広域の防災に関することや、当初の目的である商品開発、ふりかけやハンバーガー等も手掛けていく。

・生徒支援部

文化祭の過去３年間の来場者数は、去年から少し増加した。生徒へのアンケートでは、文化祭は楽しかったという回答が増えている。次年度への課題を検討し、さらに良いものとしていきたい。

学校外での生徒会の活動として、夏休みに、生徒会生徒５名と、熊本県益城町に災害ボランティアに行った。他には、大阪マラソンで自転車を地下通路で担ぐという力もちボランティアに参加してきた。

・学校教育自己診断アンケートについて

学校経営計画等に掲示

５ 保護者からの意見書について　　特になし

６ 意見交換・協議

委員：来年度の新入生だが、希望調査の段階では定員割れになっていた。

委員：先生方も頑張っていて素晴らしい学校だと思うので、もっと外部にアピールしていってほしい。

７ 防災設備見学